

平成 16 年 10 月 12 日



news release

貸倒関連費用の減少とローコストオペレーションの推進により 経常利益が前年比 18% の増加

ポケットカード株式会社（8519）の平成 17 年 2 月期中間期業績は、営業収益が 167 億 44 百万円（前年同期比 0.6% 増）、経常利益が 36 億 72 百万円（同 18.2% 増）、中間純利益が 16 億 51 百万円（同 7.2% 減）と、増収、経常利益では増益、中間純利益では減益となりました。

営業収益については、融資部門で債権の良質化を目的とした与信の厳正化等の影響により前年同期比 0.3% 減の微減となったものの、割賦購入あっせん部門では景気回復に伴う個人消費の改善や利用促進施策の推進により前年同期比 12.4% 増と大幅に増加、営業収益全体でも前年同期比 0.6% の増加となりました。一方費用面では、懸案であった貸倒関連費用が自己破産の減少に伴い減少に転じ、またローコストオペレーションの推進による販売管理費の圧縮に努めた結果、営業費用全体で前年同期比 3.7% の減少、これにより営業利益で同 19.0%、経常利益で同 18.2% の増益となりました。中間純利益については前年同期比で 7.2% の減少となっておりますが、これは期初より計画しておりました遊休不動産の売却に伴う 6 億 59 百万円の特別損失の計上によるものであり、通期の業績予想に対し順調に推移しております。

（百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期	16,744 (+0.6%)	3,672 (+18.2%)	1,651 (7.2%)
通期業績予想 上方修正後	33,600 (+2.3%)	6,800 (+43.9%)	3,500 (+38.8%)
計画進捗率	49.8%	54.0%	47.2%

（）内は前年同期比

中間期のトピックス

（1）貸倒関連費用の減少

2001 年から増加傾向にあった貸倒関連費用は、今中間期では前年同期比 1.6% 減の 36 億 44 百万円と減少に転じました。これは、継続的に行っております与信の厳正化、債権管理体制の機能強化に加え、全国自己破産者件数が昨年 11 月から 8 ヶ月連続で前年比マイナスになるなどの市場全体での改善の動きを受けたものです。

(2) 伊藤忠グループとの共同での事業展開が本格化

2004年2月に提携を行ったファミマクレジット株式会社(金融)との保証業務が7月に本格的にスタートいたしました。また8月には全国に2,200箇所の系列SSを有する石油卸大手の伊藤忠エネクス株式会社(エネルギー)、並びに女性向ファッション誌連動通販サイトのマガシーク株式会社(繊維)との提携カード発行を発表するなど、伊藤忠グループとの共同事業がさらに進展しました。今後も同グループとの連携を強め安定した営業基盤の拡大と新ビジネスの創出を進めてまいります。

また、9月には酒販業界の「再生請負人」として全国に1,200店の加盟店を有する株式会社ケーエルシーとの提携カード発行を発表しており、伊藤忠グループ以外での営業基盤の拡大も積極的に進めております。

(3) 「VISA」ブランドクレジットカードの発行が可能に

2004年8月、三井住友カード株式会社との提携により、「VISA」ブランドのクレジットカード発行が可能になりました。従来から発行している「MasterCard」ブランドに加え、「VISA」ブランドクレジットカードが発行できることで選択の幅が広がり、お客さまの利便性を高め、満足度の向上に寄与します。今後5年間で100万枚の「VISA」ブランドクレジットカードの発行を計画しております。

以 上